

(別紙様式)

平成31年 4月15日

徳島大学長 殿

総合科学部長
栗 栖 聡〔公印省略〕

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	4,400 千円	4,400 千円	0 千円

【実施状況】

本学部に予算措置されたインセンティブ経費 4,400 千円については、学生の教育環境・設備等の充実化をはかるため、広い講義室（301 講義室）の照明器具のLED化をおこなった。

また他の講義室については、OA機器等が長期利用により不具合が生じていたため、入れ替えをおこない、充実化をはかった。

【成果・効果】

LED化にすることにより、紫外線も少なく、蛍光灯のようなちらつきも無く、ノートの記述時や黒板の文字もみやすくなり、学生たちの教育環境が整えられたと考える。

また、長期的視点で考えれば、広い講義室の照明器具をLED化にすることにより、蛍光灯に比べ消費電力も少ないため、二酸化炭素の排出量が少なく環境にやさしく、幾段の電気料金の値下がりもあわせて考えられる。

LED照明は、発熱量が少ないのでエアコンの負荷軽減も今後見込まれる。

(別紙様式)

平成31年3月27日

徳島大学長 殿

理工学部長

橋爪正樹【公印省略】

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	5,600千円	5,600千円	0千円

【実施状況】

共通講義棟講義室の音響設備等が老朽化により、授業開始時に調整で時間を取られることがあり、また故障により調整ができなかった場合は、急遽ポータブル機器を貸出し対応をしていたが、これらが原因で授業時間に影響を及ぼすことがあったため、設備更新が急務であった。

今回配分いただいたインセンティブ経費により、4階K407室、5階K507室、6階創成学習スタジオの音響設備を更新するとともに、2階K201室、3階K307室のプロジェクターを更新した。

また、全講義室に黒板クリーナーを設置し、授業環境を整備した。

【成果・効果】

共通講義棟講義室の音響設備等を整備したことで、授業時における機器トラブルがなくなり、必要な授業時間を確保することができるとともに、教員及び学生も集中して授業に取り組むことができる。

また共通講義棟は、他学部の授業や学会等へ臨時貸付を行っており、これらについても滞りなく実施することができる。

平成31年3月27日

徳島大学長 殿

社会産業理工学研究部長

河村保彦【公印省略】

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,600 千円	1,600 千円	0 千円

【実施状況】

本研究部に予算措置されたインセンティブ経費 1,600 千円について、平成30年度は研究機器の共用利用促進、研究活動の活性化、分野融合の更なる推進を目的として、共用性の高い研究機器に対する修理費等へ支弁することとした。

支弁に際しては、3学域の教職員に文系・理系を問わず照会をし、その結果7件の要望書の提出があった。その後、適正な審査を行い、4件を採択した。

なお、予算額に63千円の不足が生じたが、研究部長裁量経費より補填をした。

【成果・効果】

今回の予算措置により、運用効率が向上し、故障による研究の停滞も防ぐことができた。また、メンテナンスを行うことにより、装置自体の寿命も延長することができ、当初の目的であった研究機器の共用利用促進等の更なる推進を図ることが可能となった。

(別紙様式)

平成30年3月29日

徳島大学長 殿

医歯薬学研究部長
苛原 稔 [公印省略]

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,800 千円	1,800 千円	0 千円

【実施状況】

医療教育開発センターが管理・運営を担当しているスキルラボ設備の充実を図ることを目的として、医療系学部におけるフィジカルアセスメントや身体診察実習の充実のために腹部触診シミュレータ2台を新たに購入した。また、Tokushima Bioscience Retreat や大学院教育クラスターミニリトリート等に使用するパソコンの老朽化に対応するために1台を更新した。

【成果・効果】

新しいシミュレータを購入することにより、医療系学生にとってより充実した臨床技能教育の学習環境を提供することが可能となった。豊富な訓練機器を使用して効果的な練習を積み重ねることにより、基本的・専門的医療技術・技能を習得し、社会の人々に安心安全な医療を提供できる医療人の育成に貢献できる。また、組織横断的大学院教育に使用する老朽化した教育機器を更新することにより、医療系大学院教育の充実に寄与した。

(別紙様式)

平成31年 4月26日

徳島大学長 殿

先端酵素学研究所
所長事務取扱 佐々木 卓也 [公印省略]

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,600 千円	1,600 千円	0 千円

【実施状況】

四期を見据え、研究所のホームページをリニューアルした。軽微な修正は業者に依頼しなくてもできるようにした。

また、所内教職員の利便性向上のため、各種様式をダウンロードできるページを作成した。

共同利用・共同研究拠点事業の公募に関するページも見直し、過去の採択状況や研究成果報告書にアクセスしやすいようにした。併せて、平成30年度の研究所概要（PDF ファイル）を作成、ホームページ上に掲載して、活動内容を広く情報発信することに努めた。

【成果・効果】

ホームページのリニューアルにより、研究所の研究活動をよりの確に発信できるようになった。

また、各種様式ダウンロードページの作成及び軽微な修正を所内で行うことにより、共同利用機器利用申請についても、迅速に最新版を掲載できるため、学内外の利用者の利便性が向上した。

共同利用・共同研究のページについては、採択状況等により円滑にアクセスできるようになり、研究所の活動内容を広く知らせるのに役立っている。

平成31年 3月29日

徳島大学長 殿

総合教育センター長
高石喜久

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
		1,400千円	1,400千円

【実施状況】

【教育改革推進部門】 予算額 404千円 執行額 404千円

- 教育改革推進部門の行っている業務内容について、全学の教職員及び学生に対し広く周知し、教育改革の企画及び運営に理解いただくことで、円滑な業務が遂行できるようにするためのリーフレットを作成した。
 - 教育の質保証のための教育改革に係る企画・立案に関すること。
 - 教員の教育力の向上等に関すること。
 - その他教育改革に関すること。

- 教育改革推進部門の事務処理について、平成24年度に購入したWindows7のPCを使用しており、耐用年数を超過し、動作が遅くなっていた。ホームページ編集やアンケート集計業務に時間がかかりすぎ、業務に支障を来していたため、更新した。

デスクトップパソコン NEC PC-MK37LBZDU(Windows10)	3台	299,940円
教育改革推進部門リーフレットデザイン料	1式	54,000円
教育改革推進部門リーフレットA4カラー三つ折り	2000部	50,000円

【ICT活用教育部門】 予算額 900千円 執行額 900千円

- ICT活用教育:平成31年度入学生にeラーニングの学修形態及びサポート室を知ってもらうため、チラシを作成した(2,000部)。
- ICT活用教育:反転授業やe-Learningコンテンツ作成サポートのための撮影用カメラやソフト等の備品の購入を行った。

【センター管理部門】 予算額 96千円 執行額 96千円

センター管理部門の事務処理においては、Windows7のPCを使用しているが、耐用年数を超過し、動作が遅くなっていた。そのためアンケート集計業務及び事務作業に時間がかかりすぎ、業務に支障を来していたため、更新した。

【成果・効果】

【教育改革推進部門】

1. 教育の質保証のための、教育改革に係る企画・立案を行った。特に今回は、教員の教育力の向上等を推進するために、初めて年間の全学FDを計画し、リーフレットで周知することで、多くの教員に参加を促すことができた。今後も、新任教職員研修等、あらゆる機会に配付したいと思っている。
2. 教育改革推進部門の事務処理を遂行しているパソコンが、Windows10 になり、事務処理速度も格段に向上したことで、ホームページ編集やアンケート集計業務が非常にやりやすくなり、業務改善に繋がった。

【ICT活用教育部門】

新入生に、e-Learning による学修形態の支援やパソコンの使用により生ずる問題に迅速に対応できる窓口として e ラーニングサポート室があることを広報することにより、安心して e-Learning に取り組む環境ができ、e-Learning による学修の促進に繋がると期待される。

教員には、反転授業や e-Learning コンテンツ作成のサポートを充実するための環境整備を行うことより、e-Learning による授業形態の促進に繋がると期待される。

【センター管理部門】

センター事務処理を遂行しているパソコンが、Windows10 になり、事務処理速度も格段に向上したことで、アンケート集計業務及び事務作業が非常にやりやすくなり、業務改善に繋がった。

平成31年4月11日

徳島大学長 殿

環境防災研究センター長
中野 晋

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
		900千円	900千円

【実施状況】下記の通り、教育研究環境整備のために活用した。

- ①木質建築物の耐震診断・構造解析ソフトウェアの購入（233,940円）
徳島県内に多数存在する古民家等の耐震改修を進めるため、木質建築物の耐震診断と耐震改修計画を作成するために購入。
- ②地すべり発生運動統合シミュレーションソフトの購入（351,000円）
豪雨による山腹崩壊土砂の長距離移動予測システム構築を目的にソフトウェアを購入
- ③水中ドローン及び360度パノラマ画像撮影システムの購入（290,828円）
防災と海洋環境に関する現地映像取得方法の高度化に関する試行と改善策を検討するために購入した。
- ④その他 電卓，USBメモリー，カードリーダーなど（24,232円）
事務処理の効率化を図るために必要な事務用品を購入

【成果・効果】 主要な①～③の経費活用について記述する。

- ①牟岐町の出羽島重要伝統的建造物群保存地区において古民家の実測調査より復元図を作成し、耐震診断を行った。さらに診断結果を元に、効率的な耐力壁配置方法を検討し耐震改修計画のモデルを作成する上で活用した。次年度以降、つし二階建や総二階建等の種々の古民家を対象に耐震診断・改修計画のモデルを作成する。
- ②集中豪雨による地すべりや斜面崩壊の土砂が土砂災害警戒区域や特別警戒区域を超えて大きく移動する原因は、高強度降雨などによる崩壊土砂(又はその一部)の流動化によるところが大きい。このような流動化土砂の移動距離をコントロールする主なパラメータの特定方法に一定の目途をつけることができた。
- ③360度映像については、様々な主題に関係する映像を一度に取得することができ、復興状況のアーカイブを作成する機材として十分活用できることを確かめた。水中ドローンについては、海中での環境状況を容易に取得できることから、環境と防災に関する課題発見のために有用であることを確認した。

平成31年 4月26日

徳島大学長 殿

研究支援・産官学連携センター長
吉田 和文

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,600 千円	1,600 千円	0 千円

【実施状況】

研究支援・産官学連携センターは、徳島大学の研究力の向上とその研究成果の地域社会への還元に貢献することを大きな目的とし、学内全ての研究者への支援を行っている。また、役員との調整や会議への参加も多く、新蔵地区へ出向くことも多い。現在は、新蔵地区及び蔵本地区へ出向く際には共用公用車やタクシーを利用しているが、常三島地区では共有公用車の利用率が高く、急な用務などの場合には利用することが困難であり、やむを得ずタクシーを利用することが多い。

そこで、研究支援・産官学連携センターが専有で使用できる自動車として、利便性を考慮して、搭乗者の危険を未然に防ぎ安全性を確保することのできる安全装備を有した車両と1台購入した。

【成果・効果】

納品が2019.3月末となり、また自動車保険が2019.4.1からの契約となっていたため、2018年度中の実績がないため、成果効果は現れていないが、2019年より新蔵地区へ研究支援・産学連携センターの機能の一部を移行するため、長期的視点で考えれば、タクシーを利用するよりも安価にキャンパス間等を移動できると思われる。

平成31年4月24日

徳島大学長 殿

AWA サポートセンター長
葉久真理

平成30年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,100 千円	1,100 千円	0 千円

【実施状況】

- ① センター会議等のペーパーレス化、情報の共有化を図るため、タブレット端末 21 台及び入力ペン 16 個を購入し、センター会議メンバー（副センター長 3 名、部門主任 3 名、部門委員 15 名）に配付して、2019 年 5 月開催予定の第 1 回センター会議（合同部門会議）から活用することとした。
タブレット@39,800 円×21 台＝835,800 円
入力ペン @15,000 円×16 個＝240,000 円
- ② イベント実施時の幼児一時預かり保育の際、幼児に利活用してもらう図書（絵本）を 4 冊購入して、女性職員休憩室（Rococo）に配置した。
図書 4,227 円
- ③ センター事務室で使用する文房具を購入し活用した。
文房具一式 19,997 円

【成果・効果】

- ① センター会議の全メンバーにタブレット等がいきわたることにより、会議のペーパーレス化、情報の共有化に多大な効果が期待できる。
- ② 女性職員休憩室に配置している図書（絵本）の充実が図られた。
- ③ センター事務室の事務に活用することができた。